
proach with one step, two steps, three steps

豆吉

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Approach with one step , two steps , three steps

【ZINE】

Z 8095 Y

【作者名】

豆吉

【あらすじ】

武内苑子の片思いの相手は、2番目の兄の後輩である内藤駿介。基本無愛想で無口な駿介と同年代の男の子がちょっと苦手でオクテかつ人見知りな苑子。この二人の距離が近づいてく過程を書く予定です。

「泰斗高校恋愛事情シリーズ」第2弾です。

第1弾”図書委員会の恋愛事情”の中に掲載されている「武内苑子の～」で始まるタイトルの続編にあたります。第1章の頭に簡単に

今までの流れを書いていますが、
”図書委員会”を読むと詳しく書
いてあります。

第1章：おまけの誘い（前書き）

前作”図書委員会”で長くなりそつなので、独立せるとお知らせした武内苑子の恋愛話です。

お待たせしましたつて・・・書いていいのかな。

第1章：おまけの誘い

私は武内苑子です。泰斗高校の1年生です。最近、兄のおかげで知り合った専心館高校3年生の内藤駿介さんは、入学して間もなくの連休明けの通勤ラッシュで私を助けてくれた人でした。

顔を見るだけでラッキーだったのに、思いがけず兄のおかげで知り合ったあの人は、寡黙だけど優しくて、初めは1年生の私にも敬語だつたけど文化祭の頃には普通に話してくれました。

最初は、ちょっとと関わるだけで嬉しかったのに、私は、もっと近づきたいと思つてしまふのです。

欲張りです、私。

今日は泰斗祭の振替休日。部屋でのんびりしていた私のところに、聰太お兄ちゃんが顔を出した。

「苑子、来週の日曜日は空いてるか？」

聰太お兄ちゃんから渡されたのは、20枚ほどの食券と書かれた紙。

「へ？」

「来週の専心祭の食券。やるから、来週俺につきあえ」

「えつ！なにそれ。」

「内藤が「妹さんと一緒にどうですか」つてくれたんだよ。俺が〇Bでなおかつ内藤の先輩でよかつたなあ！！苑子」

「えーっ！！」

（お兄ちゃんメインだけど）内藤さんが専心祭に招待してくれた！…どうじょう。なにを着て行つたらいいのかな。学校行つたら、樹理ちゃんに相談しなくちゃ。

お昼休みに樹理ちゃんに昨日の件を相談したら「制服にしどきなさ

「よ。迷子になつても分かりやすいから」とアドバイスされた。

でも、迷子つて……「樹理ちゃん。私が迷子になること前提?」

樹理ちゃんは「あはは、『めん』めん。でもせ、田畠になるから内藤さんも探しやすいとおもうけど?」と笑う。

内藤さんが探しやすいとな?なぜ、内藤さんが『めん』。私は思わずきよとんと樹理ちゃんを見てしまつた。

「内藤さんつて、食券だけ渡して放り出すよつな人?違うでしょ。きつと案内してくれると思うけどなあ~。苑子!~」これはチャンスだよ。がんばんな!~!」

「もうくんがメインで、私はオマケなんだけど……」でも、でも・

・内藤さんが案内してくれる可能性があるのかな。

「何がチャンスなの?」と、突然男の子の声がした。

座つている私たちを見下ろすよつて、高野くんがパンの袋を持つて立つていた。

「ちよつと高野くん。急に現れないでよ!」

「『めん』チャンスつて、何のチャンスなんだりつと思つて」

「あの、高野くん。チャンスつていつのは私の話で、樹理ちゃんには相談に乗つてもらつてるだけなの。だから、気にしなくていいよ?」

「え……。武内さんの? そな? だ……」高野くんは、なんだかちよつとへこんで、友達のほうへ歩いていつた。

「樹理ちゃん。高野くんがへこんでたみたいだね。」

樹理ちゃんに言つと、樹理ちゃんは高野くんのほうをチラッヒみて「ふん。この程度でへこむなんて……やつぱりダメだわ」とボソッと言つた。

「何がダメなの?」私が聞くと、樹理ちゃんは「ん?苑子は気にしないといいんだよ。それより、苑子。専心祭の報告、楽しみにしてるからね」と、素敵な笑顔でサラッと言つた。

第1章：おまけの誘い（後書き）

読み「ありがと」「や」といました。

誤字脱字、言葉使いの間違いなどがありましたら、お知らせください。

ちょっと感想でも書にちゃおつかなと思つたら、ぜひ書いていただけるとうれしいです！！

ストックが少したまりましたので、UPしてみました。

この作品でも、聰太は暗躍（笑）の予定です。話には出でる、長

兄・伊織も登場させたいなあ～と思つています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8095y/>

Approach with one step, two steps, three

2011年11月24日11時48分発行